

かしわば

第8号

2005.10

ハートフル
ルーム

みなさんと
心のふれあう
和みの場

患者さんの楽しい「いこいの場」
ハートフル・ルーム

かしわばゼミナール
薬の正しい飲み方を
知っていますか？

おしらせ
「箱庭療法」ご存知ですか？

食べて健康
エリンギ



患者さんの楽しい 「いこいの場」

入院中の患者さんであれば
どなたでも利用できます

平成17年9月22日オープンしました

ハートフル
ルーム

B館2階
1号エレベータ横

施設のアメニティや患者さんへの
サービス向上を目指して

「入院患者さんが気軽に利用できるいこいの場を院内に作りたい」という柏葉武理理事長の長年の願いが、平成17年の秋に、入院患者さん専用のいこいの場「ハートフル・ルーム」として実現しました。

9カ月ほど前から職員十数人が準備をスタート。中心となった総務課の小谷明広主任は「当院に入院されている患者さんが心に受けたダメージはかなり大きなものです。入院中に図書や映像を楽しんでもらい、少しでも早く元気を取り戻していただきたいと願いながら、準備を進めました。ソファの色は優しいパステルカラーを、家具はアットホームなあたたかさを出したいと家庭用の木目のものを選び、観葉植物や絵を飾りました」と説明します。

脳総合病院として高度最新医療を提供するだけでなく、ひとりひとりの患者さんの入院生活を快適に支える施設を徐々に備え、アメニティに優れた病院作りを進めていきます。



私たちの考えていること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

小説やマンガなどの読書が楽しめる
 演歌やクラシックなどの音楽用CDが聴ける
 DVDやビデオで、懐かしの映画を鑑賞できる
 パソコンで、インターネットができる
 囲碁・将棋・オセロの対局ができる



名作といわれる映画やマンガが揃っています



CDラジカセのほか、囲碁・将棋なども



DVDやビデオが見られます



インターネットのできるパソコン



CDプレイヤー



当広報誌やさまざまな医療パンフレットも閲覧できます

- ・ 名作といわれる映画やマンガが揃っています
- ・ CDラジカセのほか、囲碁・将棋なども
- ・ DVDやビデオが見られます
- ・ インターネットのできるパソコン
- ・ CDプレイヤー
- ・ 当広報誌やさまざまな医療パンフレットも閲覧できます
- ・ ハートフル・ルーム内での飲食はご遠慮ください
- ・ 他の患者さんに対して迷惑となるようなこととはご遠慮ください（ソファ等での仮眠／大声での会話）
- ・ 機器を使用するときは、ヘッドホンを使うなどして、他の患者さんの迷惑にならないようにしてください
- ・ 気分が悪くなりましたら、ご遠慮なくナースコールを押して、看護師をお呼びください。

- 【図書】心・癒し 54冊／雑学 30冊
 笑い 58冊／マンガ 229冊
 - 【映像】ビデオテープ 50本
 - 【映画】DVD 13本
 - 【音楽】CD 257枚
- ※機器に故障が生じた場合は、ナースコールを押してください。

- ご利用できる時間
 午前8時30分から午後8時30分まで（病院が休みの日でもご利用できます）
- 貸出しについて
 図書や音楽用のCDは、ハートフル・ルーム以外に持ち出すことができません。貸出簿に記入してください。貸出し期間は1週間以内です。返却時には貸出簿に記入し、返却コーナーに戻してください。
 ※その他の備品は、ハートフル・ルーム内だけでご利用ください。

酸素吸入器



ナースコール



安心して利用できる癒しの空間です

当院では、安全で安心いただける医療サービスを常に心がけています。

患者さんの安全と安心を保障する環境の整備は「ハートフル・ルーム」においてもきちんと行われています。万が一の病状の変化に備え、看護師がいつでも駆けつけることができますように、壁にはナースコール用の「呼出ボタン」と「酸素吸入器」を設置しています。



ご利用に際しての疑問やご不便がありましたら、お気軽に職員までお声かけください。また、投書箱もありますのでご利用ください。

かしわば ゼミナール

第8回

薬の正しい飲み方を 知っていますか？

正しく飲むことで、薬の効果が発揮されます

薬はたっぷりの水で 飲みましょう

薬を水で飲むのは、薬を飲みやすくするためにはありません。たっぷりの水で飲むことで、効き目が発揮しやすくなるのです。

水の量の目安は、コップ1杯（180cc）です。たっぷりの水で薬を飲むと、消化管への刺激が緩和され、胃腸管の薬の吸収率も高まります。

また、液剤以外の薬は、水なしで飲むと、薬が食道や胃の粘膜に貼り付いてしまい、炎症を起こすこともあります。「飲み込めるから大丈夫」と言っても、唾液で飲み込むのは絶対にやめましょう。

また、ジュース・お茶・牛乳などは、注意が必要です。薬によっては、効果が薄くなる場合もあります。薬を飲む前には、これらの飲み物の摂取を控えておいたほうがいいでしょう。



食事をしなかったときも 時間通りに飲みましょう

「食後に飲む薬」を処方された場合、なるべく食後30分以内に飲みましょう。しかし、仕事で忙しかったり、急な用事があったり、食事を抜いてしまったときは、いったいどうしたらいいのでしょうか。

薬の効果を考えると、「朝」「昼」「夕」と指定された時間に飲むのが一番です。もしも1回分飲み忘れてしまったときは、2回分をまとめて飲むのは絶対にやめてください。1回抜いたままにして、次の日から指定された時間通りに飲むようにしましょう。

薬の飲み方について、分からないこと、不安なことがありましたら、薬剤師か医師にお気軽にご相談ください。

NEWS おしらせ

「箱庭療法」 ご存知ですか？

当院では、リエゾン精神医学に基づく精神的ケアの一環として、「箱庭療法」をとり入れました。

「箱庭療法」とは、箱庭という道具を通じて患者さんとカウンセラーが対話し、患者さんの心身の不調和を治療するという療法で、3人の臨床心理士が担当しています。

お気軽に
ご相談ください。

患者さんに、ミニチュアの人形や乗り物、建物などを砂の入った箱の中に置いてもらいます



ヨーロッパ原産のきのこで、最近では日本でも栽培されています。



大腸に効く食物繊維が豊富です

エリンギは、きのこ類の中でも特に「食物繊維」が豊富。一緒に摂取したコレステロールや脂肪の吸収を阻害し、腸を刺激するので、便秘解消や大腸ガンの予防に効果があります。

血圧が気になる方に

神経系・筋肉・心臓の機能を正常に保つ「ビタミンB」とナトリウムの排泄を促し、血圧を下げる働きがある「カリウム」が含まれています。

暑かった夏が終わり、日を増すごとに秋の深まりを感じるようになりました。

この時期、北海道には旬の味覚があふれています。その誘惑にいついつられて、はたまた、やがて訪れる厳冬時期に向けて自然に

編集後記

着々と蓄えられる体内脂肪に、気がつく理想体重〇〇kgオーバーなどと嘆かないためにも、何事も日ごろの鍛錬と継続が大事です。朝晩の寒暖の差が激しいこの時期、健康管理には、十分ご留意ください。

(小川)